

学力向上だより “継続と徹底”

第107号 R6.9.4 (水)

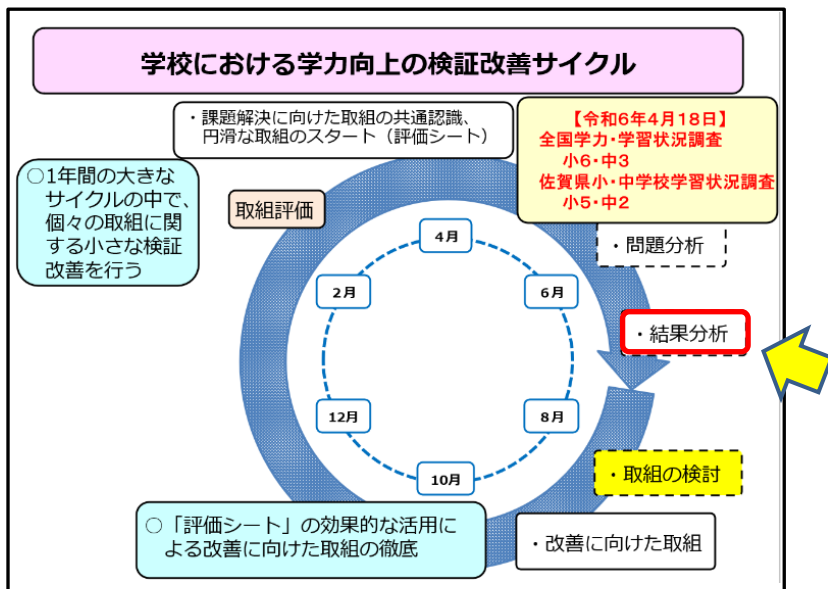
佐賀県教育委員会事務局学校教育課



全国調査と県調査の結果を授業改善に生かしましょう！

4月に実施した令和6年度全国学力・学習状況調査及び佐賀県小・中学校学習状況調査の結果が各学校に提供されています。

各学校においては、8月20日付「令和6年度佐賀県小・中学校学習状況調査及び全国学力・学習状況調査-調査結果と指導改善のポイント-」を活用いただき、両調査の一体的な分析を行うことで授業改善に役立てていただきますようお願いします。



両調査の概要

県調査では、小学校5年生と中学校2年生の全ての区分で目標値に届きませんでした。昨年度に比べ、小学校算数、中学校国語・数学・英語において目標値との差が縮小しました。また、全国調査では、小学校6年生と中学校3年生の全ての区分で全国平均を下回りましたが、昨年度に比べ、小学校算数において全国平均との差が縮小しました。

【県調査】

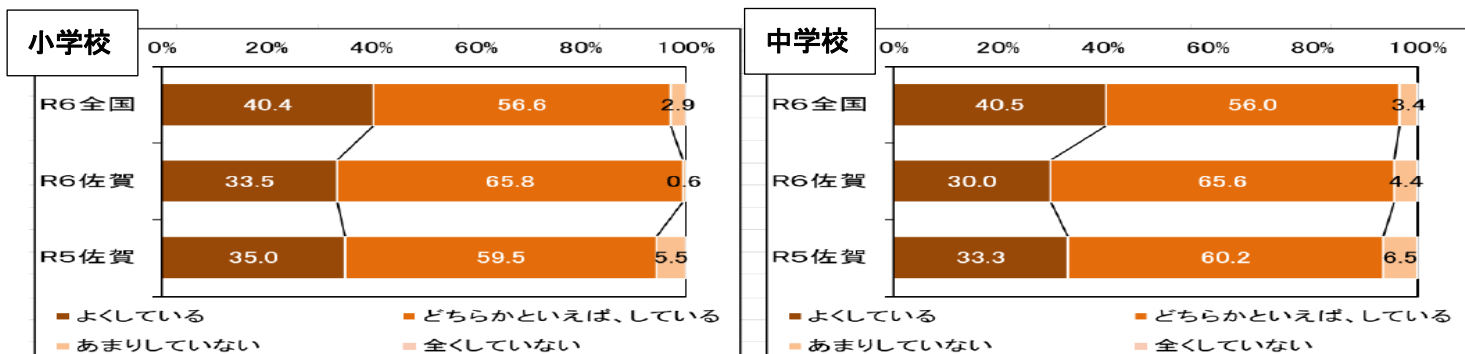
区分		佐賀県（公立） の平均正答率	目標値※1
小学校 5年生	国語	60.8	64.4
	算数	61.1	63.3
中学校 2年生	国語	62.2	63.5
	数学	53.0	56.7
	英語	46.5	51.7

【全国調査】

区分		平均正答率 (%)	
		佐賀県（公立）	全国（公立）
小学校 6年生	国語	66	67.7
	算数	62	63.4
中学校 3年生	国語	55	58.1
	数学	48	52.5

※学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合（期待正答率）

【学校質問】 ○児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。



各学校において検証改善サイクルを意識した取組が進んでいます

「主体的・対話的で深い学び」を再考する（田村 学 氏）

8月2日（金）に「令和6年度佐賀県研究指定校事業に係る指定校連絡会」をアバンセで開催しました。文部科学省初等中等教育局 主任視学官 田村 学 氏に、「主体的・対話的で深い学び-個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をテーマに、ご講演いただきました。参加者がまさに主体的・対話的に学び、考えを深める時間となりました。

○講演のポイント

- ・ INPUT も大切だが、**OUTPUT のボリューム**を増やしていく。
特に書くことが大切である。
 - ・ **知識・技能をつなぐ**（関連付ける）
「深い学び」とは、知識・技能が関連付いて構造化されたり身体化されたりして高度化し、駆動する状態に向かうことである。
 - ・ 活用・発揮して情報を処理する→長期記憶
 - ①**精緻化：既有的知識と結び付ける**
 - ②**有意味化：意味を持たせる**（例）語呂合わせ
 - ③**体制化：同じ仲間をまとめる**
 - ④**イメージ化：具体と結び付けたり図式化したりする**
 - ⑤**感情化：好ましい感情情報と結び付ける**
- ※②、③、④、⑤は①に含まれると考えることができる

参考：福田由紀教授（法政大学）



講演の様子

○参加者の感想

- ・ とても分かりやすい講演内容で、大変勉強になりました。もっとたくさんの方々にも聞いていただきたいと思いました。特に、これからの教育を担う若い方々に聞いてほしいと思いました。講演の中で、インプットとアウトプットの比率には考えさせられました。私自身、**アウトプットの比率**が少ないように思うので、今後、意識して取り組みたいと思いました。
- ・ アウトプットに比重をおく大切さがよく分かりました。また、今までやってきたことも大切にしつつ、新しいことに挑戦することが大事だと分かりました。**毎年 1000 時間する授業の中で 1 日少しずつ意識をしていくことが大切だ**という言葉が心に残りました。そういったところから、少しずつ始めていきたいです。先生のお話が面白く、終始楽しい講演でした。
- ・ 田村先生のお話が、とても分かりやすく大変興味深かった。主体的で対話的で深い学びの実践のためには、知のネットワーク化が必要で、**知識を関連付けていくことが重要**だと分かった。特に目から鱗だったのが、インプットよりアウトプットの方が学びを作るうえで大切であり、音声言語や文字言語でその質を上げていくこと。今後の教育活動で実践していこうと思う。
- ・ 1 学期の自分を振り返り、初任で毎日の授業をするのに精一杯だったので、2 学期に向けて授業をどう改善しようか悩んでいた時にこの講演会を聞き、とても刺激を受けた。私はどうしても自分が話しすぎてインプット型になることが多い。まずは自分が受け持っている子どもたちの現状をしっかりと理解すること、それに基づいて、どんな学びが彼らに向いているかを実践しながら確立させて行くことが大切だと思う。周りの先生方の色々な方法や授業スタイルをみて、聞いて、参考に出来ることがあればどんどん取り入れながら、**自分なりのスタイルを見出していきたい**。まずは今日学んだことを、ひとつでも、2 学期からの授業に取り入れようと思う。